



チャットGPTって？

◆即時に回答 対話型AI / まるで“有能な秘書”

Q-チャットGPTってどんな意味があるの。

A-チャットは英語で「会話」、GPTは「Generative Pre-trained Transformer (生成可能な事前学習済み変換)」の略称です。つまり対話型人工知能(AI)のことで、ユーザーが質問をすると、事前に用意された膨大な情報の中から対応する回答を作り出し、即時に返してくれるというものです。米国の新興企業「オープンAI」が開発し、昨年11月に現在のバージョン3・5がリリースされてから2か月で、世界の登録ユーザー数は1億人を超えるほど急速に浸透しています。



チャットGPTと開発元の米オープンAIのロゴ

Q-使い方は。どんなことでも回答してくれるの。

A-ネット上でユーザー登録すると誰でも無料で使え、「○○と××の関係性は？」「600字以内で要約してください」といった質問・要求が可能です。ただ、公序良俗に反する質問には答えられないようになっています。また、事前学習している範囲は現状2021年9月までのものであり、それ以降の出来事や最新情報は提供されません。回答にはまだ誤りも見られ、ユーザー側で検証も必要です。富山県について質問したところ「自然美、伝統文化、現代産業のバランスが取れた地域で、旅行者にとっても魅力的な観光地、生活や仕事をするにも良い場所」と出てきました。

Q-世界中で使用されるようになったのはなぜ。

A-バージョン3・5が急速に進化し、一般的な使用に耐えるレベルになったためです。3月に発表された新バージョンは数学、化学、法律、経済学に加え多言語能力がさらに進化しています。有能な秘書を月20ドルで雇っているのと変わらないパフォーマンスとって過言ではありません。

Q-社会への影響は。

A-知的労働が対話型AIに取って代わられるほか、回答にどこまで中立性を保てるかといった問題や、根本的なところでは「AIに支配される未来社会」という危惧もあります。一方、「知的労働からの解放」「人間の創造性を刺激」などにつながるという肯定的な考え方もあります。対話型AIは「人間の本当の価値とは何か」「教育はどうあるべきか」など、われわれが早急に取り組まなくてはならない課題を浮き彫りにしたといえるでしょう。

(北陸経済研究所の藤沢和弘が担当しました。)